KEK電子・陽電子入射器の現状

小川 雄二郎 電子・陽電子入射器グループ 高エネルギー加速器研究機構

- [1] 2001年秋-2002年夏 運転概況
- [2] 運転統計
- [3] ビーム品質向上・管理
- [4] KEKB**陽電子2バンチ入射**
- [5] KEKB陽電子連続入射
- [6] アップグレード

2001年秋-2002年夏 運転概況

• 4リングへの入射は概ね順調(陽電子2バンチ入射時、2002年6月)

	Charge [nC]	Energy [GeV]	Injection /day	Inj. Time [min] (Current)
KEKB e-	1.0	8.0	~ 17	1 —2 (0.72->0.95 A)
KEKB e+	0.6 × 2	3.5	~ 17	3 —4 (1.0->1.6 A)
primary e-	8 1 0 × 2	3.7		
PF e-	0.2	2.5	1	4 —6 (0->400 mA)
PF-AR e-	0.2	2.5	12	3 —4 (0->40 mA)

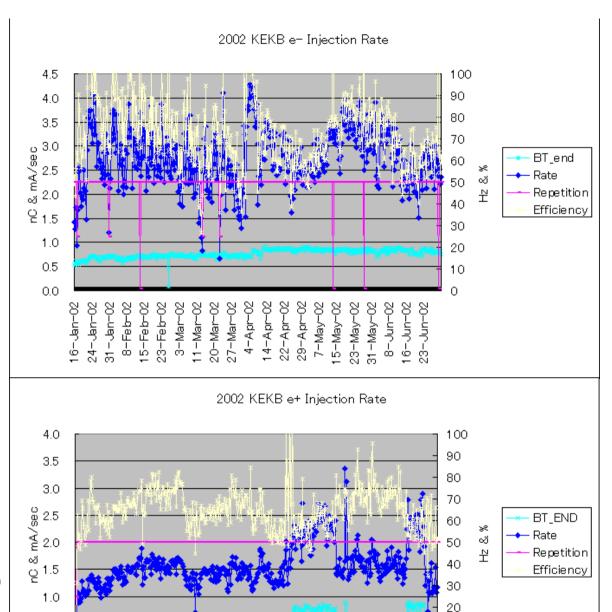
KEKB 2002.1-6

(1) Charge @ BT Injection Rate

8.0-GeV electron
Single-bunch injection
0.6-0.9 nC
0.6-4.3 mA/s

3.5-GeV positron
Single-bunch injection
0.4-0.5 nC
0.7-1.8 mA/s
Two-bunch injection
(4/23-5/16, 6/18-25)
0.7-0.9 nC
1.5-3.4 mA/s

0.5



8-May-02 15-May-02

23-Apr-02 30-Apr-02

3-Mar-02

28-Mar-02

10

(2) Energy Spread @ BT

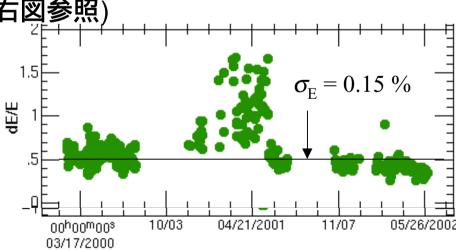
8.0-GeV electron

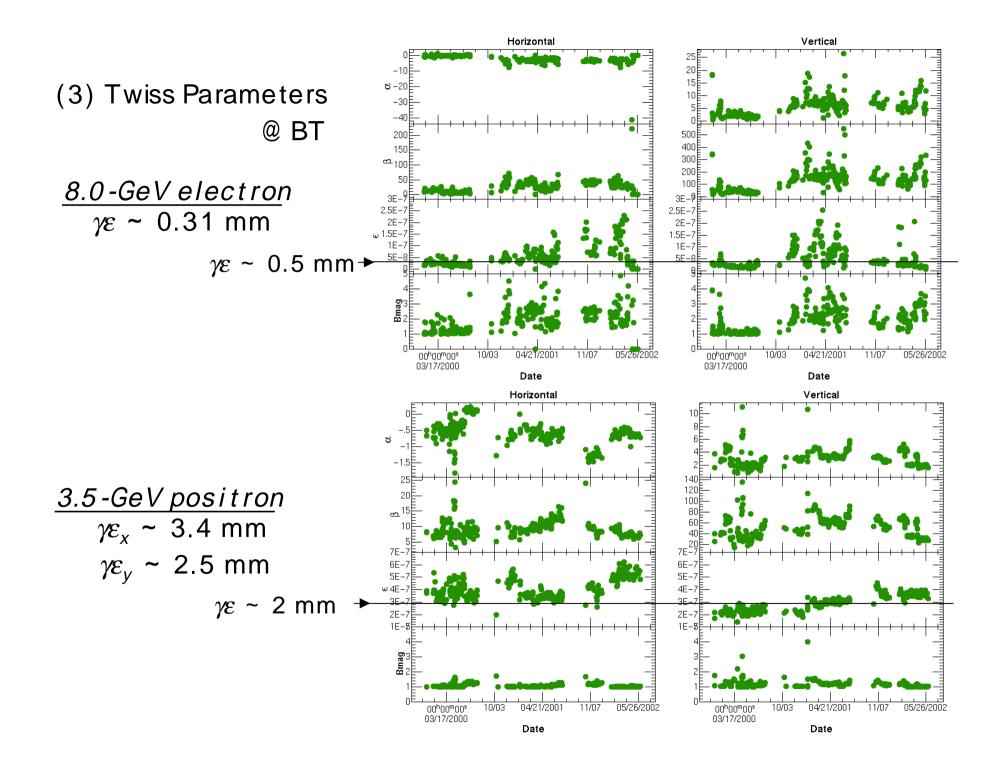
 $\sigma_{\rm E} = 0.05 \%$ (Screen Monitor)

4/2~energy tail減少(PB位相調整等) =>Injection Rate改善(前ページ参照)

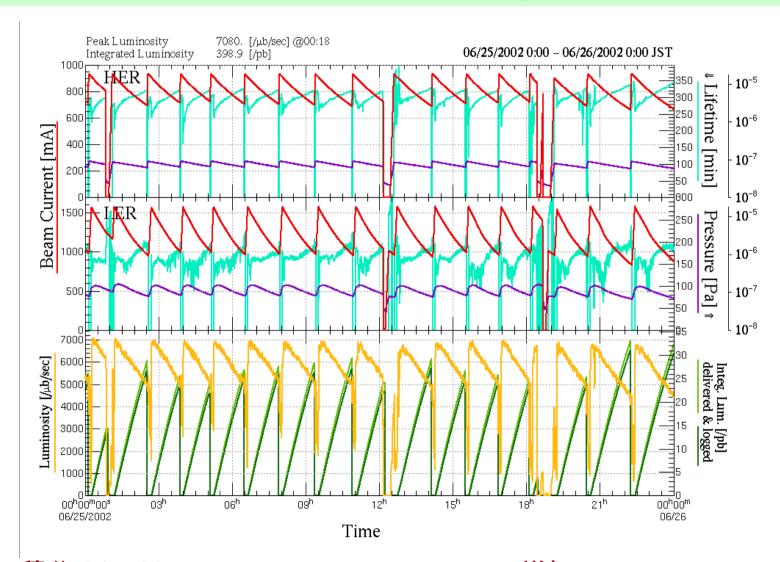
3.5-GeV positron

 $\sigma_{E} = 0.12\%$ (Wire Scanner, 右図参照)





KEKB Performance at e+ Two-Bunch Injection (June 2002)



1日の積分ルミノシティ370.1ー > 398.9 /fb (7.8 %増加) @Lpeak:7 × 10³³/cm²/s

運転統計

KEKB本格運転開始以後の運転統計(従来の統計表示)

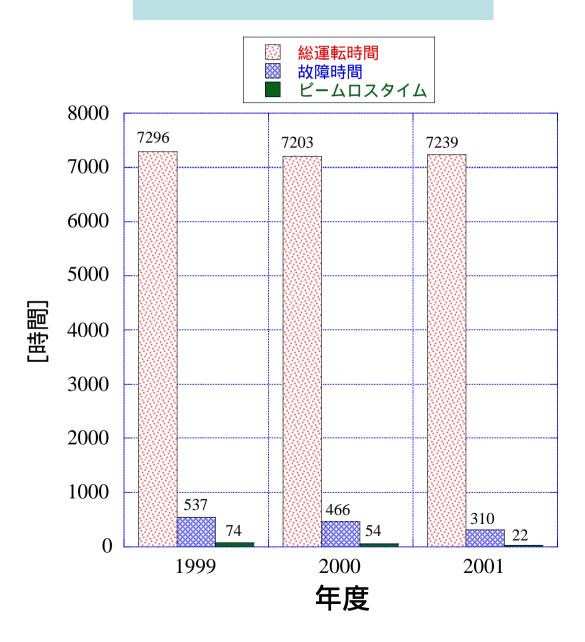
	FY1999	FY2000	FY2001	
総運転時間[hour]	7297	7203	7239	
マシンダウンタイム[hour]	537 (7.36 %)	466 (6.47 %)	310 (4.28 %)	
ビームロスタイム[hour]	74 (1.01 %)	54 (0.76 %)	22 (0.30 %)	

注意:従来、マシンダウンタイム(故障時間)、ビームロスタイムにはrfトリップを含めていなかった。 また、ビームロスタイムを重視していたが、連続入射を視野に入れて、統計表示を変更した。

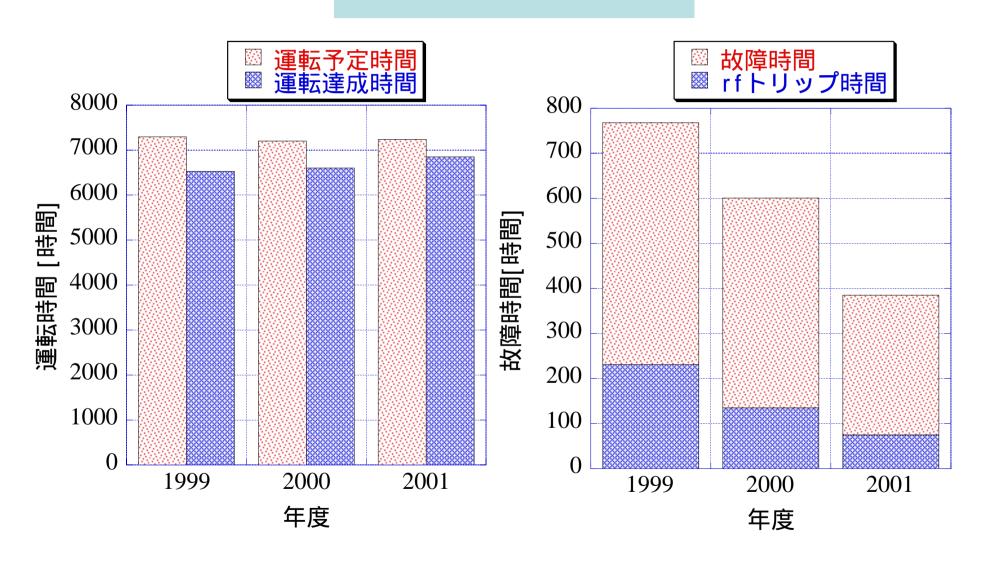
1999 - 2001年度、MTBF & MTL (新統計)

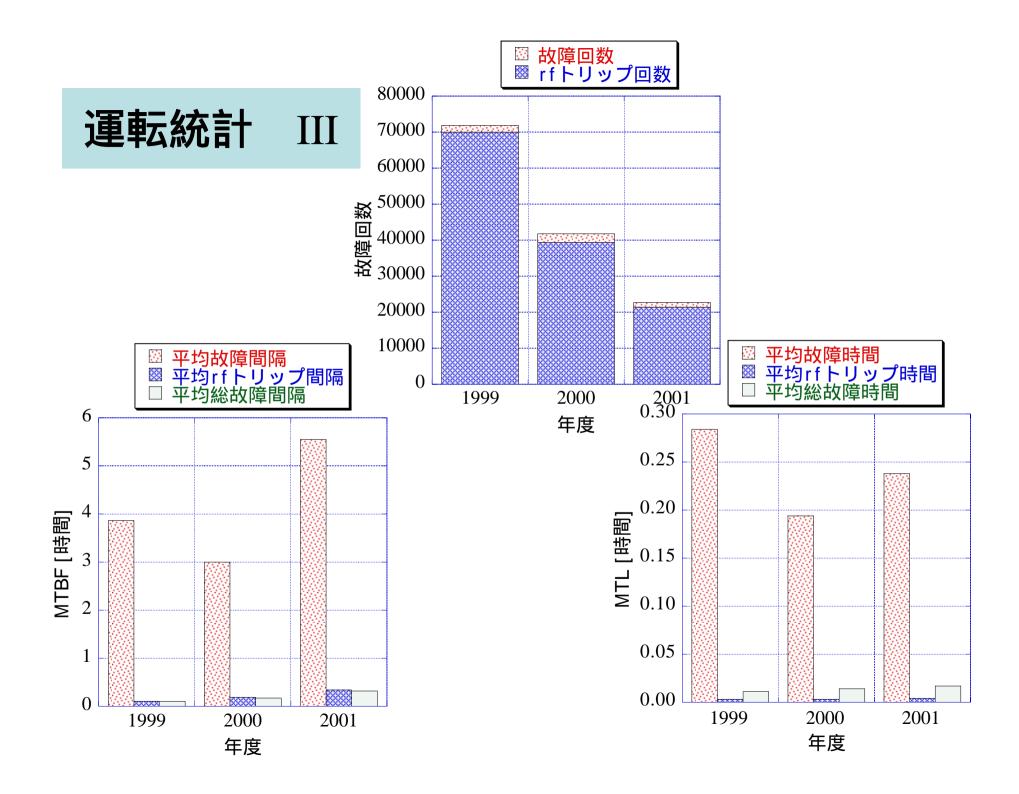
			1999年度			2000年度			2001年度		
			故障	rfトリップ	計	故障	rfトリップ	計	故障	rfトリップ	計
運転予定時間	Х	(時間)			7297			7203			7239
運転達成時間	у	(時間)			6529			6602			6854
総故障時間	х-у	(時間)	537	231	768	466	135	601	310	75	385
故障回数	Z	(回)	1888	70011	71899	2401	39380	41781	1304	21420	22724
平均故障間隔 (MTBF)	x/z	(時間)	3.865	0.104	0.101	3.000	0.183	0.172	5.551	0.338	0.319
平均故障時間 (MTL)	(x-y)/z	(時間)	0.284	0.003	0.011	0.194	0.003	0.014	0.238	0.004	0.017

運転統計 I



運転統計 II





ビーム品質向上・管理ーー安定運転の実現

• RFシステム

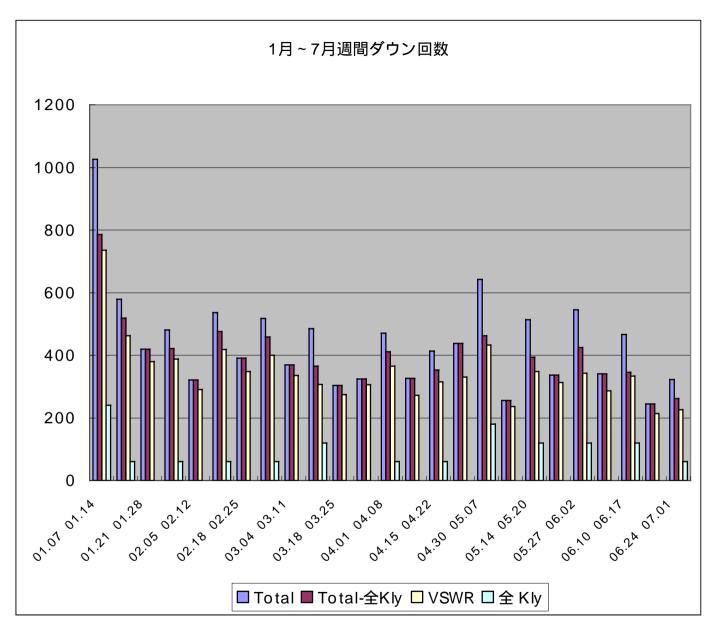
Klystron:トリップ回数の減少 500 -> 250 / week (次図) マスターオシレータ:モニタ・調整の充実化(矢野)

= > 変動の早期発見、停電時等の早期復旧等

各種モニタ表示系の改善(川瀬)

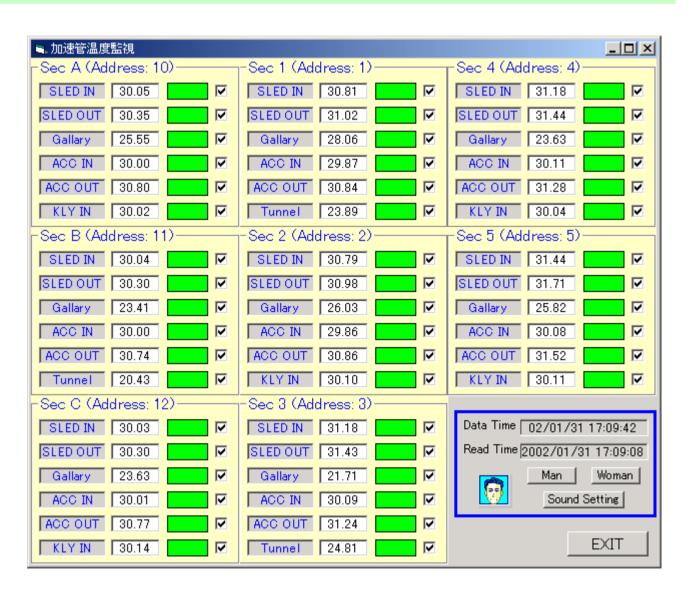
サイラトロン:重要度に応じたランク付け(明本)

- =>計画的な交換によって運転への影響減少
- Tim ingシステムモジュールの改良、ソフト改善(古川)2 バンチ調整(エネルギー補償等)に貢献
- WEBベースのビーム状態リアルタイム運転表示(上窪田)
- Facility (大越、田中)監視体制の強化(次次図)工事停電時の対応の改善
- Beam Diagnosis
 Phasing (自動化対応中:工藤)
 optics計算の信頼性向上

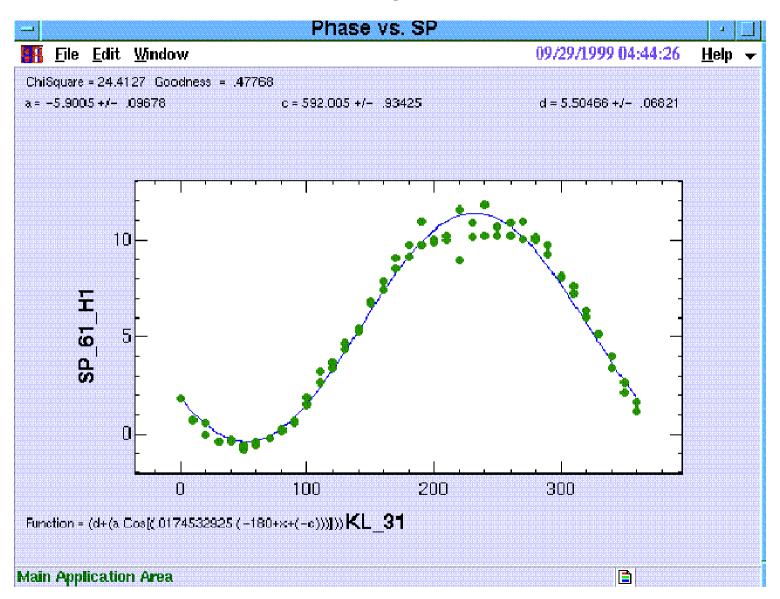


注意:Totalはメンテ時、SB故障時、トリガー歯抜けや天災時の一斉トリップも含む。 それを除いたのがTotal-全Kly。VSWRは平均10秒で復帰、その他は平均20秒で復帰。

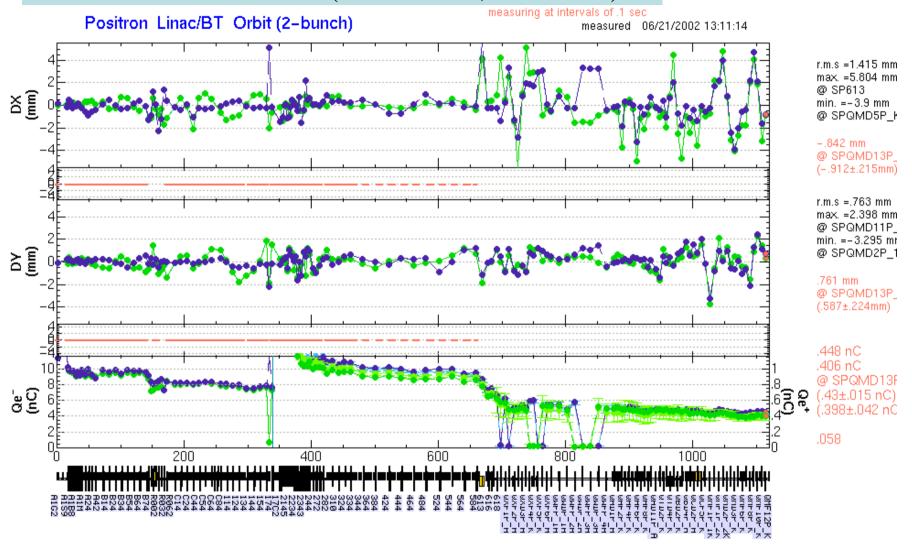
Alarm system for water temperature (大越、田中)



Phasingの例



陽電子2バンチ入射 (4/23 - 5/16, 6/18 - 25)

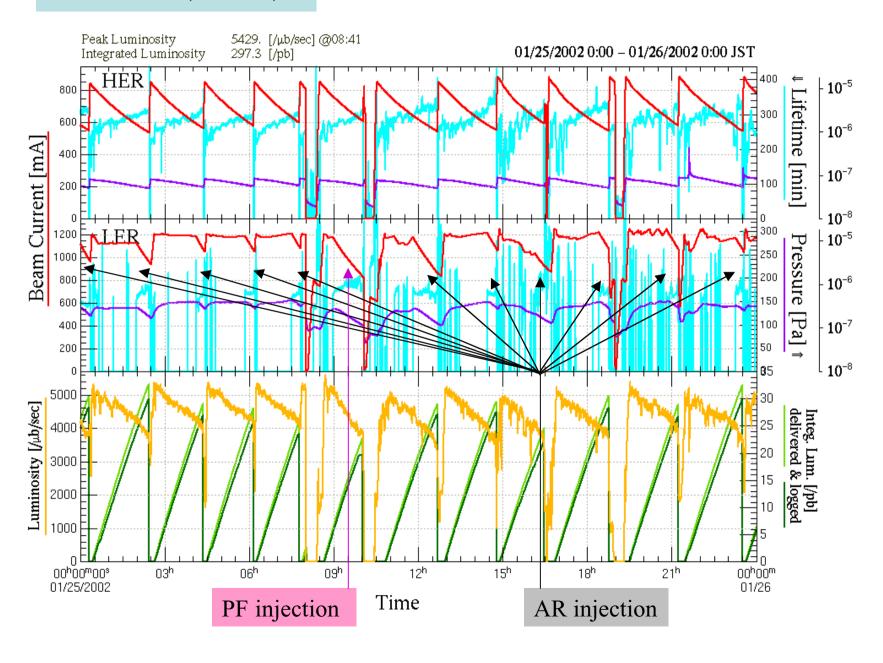


平均電荷量0.8 nC, 最大0.9 nC @BT, 平均入射率2.5 mA/s, 最大3.4 mA/s

1日の積分ルミノシティ370.1ー > 398.9 /fb (7.8 %増加) @Lpeak:7 x 10³³/cm²/s

連続入射(1月末)

1日の積分ルミノシティ改善20-30%



アップグレード

• 陽電子ビーム8 GeV化(紙谷)

SuperKEKB Luminosity 10³⁵ /cm²/s計画
LER < -> HER Energy Exchange
陽電子ビームの光電子不安定性対策
=>陽電子標的のあとCバンド加速管の導入

・ チャネリング放射光を利用した陽電子生成(諏訪田) タングステン単結晶標的を用いた陽電子生成実験